

## 1. 内政

### ▼17日、社会党と自由民主党は、大統領直接選挙制導入に向けた憲法改正発議を憲法裁判所に提出。

・29日、憲法裁は本件を却下。憲法改正は大統領の選出・解任のみでなく、統治システムや首相・議会議長の権限の明確化等にも触れるべきとした。(参考:両党が同様の発議を行うのは2回目であり、いずれも憲法裁が却下。憲法裁が肯定的判断を行った場合に限り、6ヶ月が経過した後に議会審議が可能となる。)

・社会党は新たな発議を行う旨表明するとともに、再度の大規模抗議運動を示唆。

### ▼19日、ナスタセ「尊厳と真実」代表の発言。

・大統領直接選挙制が導入された場合、自身が立候補する用意があることを表明。合わせて、直接選挙制導入に係るレファレンダム実施のための署名を現行大統領の任期終了までに集めるべく、活動を継続するとした。

### ▼21日、議会事務局は野党に対し、1月20日のデモ活動により議会が受けた被害への弁償を請求。

・社会党、我らの党、「尊厳と真実」に対し75万レイを請求。

### ▼ペトレンコ元議員の動向

・22日、裁判所は、未決拘禁中のペトレンコ元議員らにつき拘置所から自宅拘禁への切り替えを決定。社会党議員の保証によるもの。(参考:同元議員らは昨年9月、検事総局前でデモを行ったことにより逮捕されていた。)

・「ペ」元議員は、本件決定は22～23日にモルドバを訪問するPACE共同報告者を欺くためであるとして批判。

・26日、裁判所は、欧州議会議員、欧州評議会議員会議議員らの個人保証に基づく「ペ」元議員らの釈放請求を棄却。

### ▼23日、未決拘禁期間に関する憲法裁判所の判断。

・未決拘禁期間は1年を超えてはならないとした。

### ▼23日、社会党は、米国大使館、ルーマニア大使館及びNATO情報センター前にてピケを実施。

・約200名が参加、モルドバ現政府を支援しないよう要求。

### ▼24日、市民プラットフォーム「尊厳と真実」の政党登録が完了。

### ▼24日、政府閣議において、議員の不逮捕特権を緩和する法案を承認。

・法案は議会での審議に先立ち憲法裁判所に送付される。

### ▼25日、欧州統合に関する政府委員会は、主要な改革アジェンダに関するロードマップを採択。

### ▼25日、政府は「ディアスポラ2025」国家計画を採択。

・政府、地方政府党とディアスポラのネットワークと協力の拡大を目指すもので、モルドバ・EU連合協定の要求の一つ。

・30か国に52万人のモルドバ人がいるとされている。

### ▼25日、議会春期会期第1回会合開催。

・24日に日程が決定されたもの。会合では、モルドバの安定化・近代化に関する決議(司法、検察、銀行分野での改革と、モルドバのEUへの方向性を確認)を採択。

・検察に関する法を採択(発効は本年8月1日)。26日、グリーン現検事総長は、右を欧州で最も優れた法の一つであるとして歓迎するとともに、辞任を表明。

・自由民主党会派の新代表にデリウ議員が就任。

・共産党は議員の「政治的移民」(政党乗り換え)に係る非難決議を提案したが、否決。

・社会党も複数の動議を行うも全て否決され、途中退席。

### ▼26日、キシニョフ控訴審裁判所は、フィラト元首相の自宅拘禁への切り替えに係る訴えを棄却。

## 2. 外政

### ▼16～17日、ティモフティ大統領ルーマニア訪問。

・ヨハニス大統領と会談、モルドバ共和国勲章を授与。

・チョロシュ首相、ポペスク＝タリチャーヌ上院議長と会談。

### ▼18日、フィリップ首相は、欧州評議会議員会議(PACE)による対モルドバ・モニタリングの終了がモルドバ政府の優先課題である旨表明。

### ▼19日、ルプ民主党党首は EURONEST 議員会議共同議長に選出。

(参考:EURONEST 議員会議は欧州議会とウクライナ、モルドバ、ベラルーシ、アルメニア、アゼルバイジャン、グルジアの議会間フォーラムで、東方パートナーシップの一環。)

### ▼ゲルマン前外相が国連事務総長候補に(22日報道)

・フィリップ首相から国連に書簡を発出。現在6人目の候補。

### ▼22～23日、PACE 共同報告者の来訪。

・未決拘禁中のフィラト元首相及びペトレンコ元議員に面会することが目的の一つ(ペトレンコ元議員は本件訪問に先立ち自宅拘禁に切り替えられたため、面会は果たせず)。

・カンドゥ議長、グリーン検事総長、ヴォローニン共産党党首、ピトリンチュク自由民主党副党首らと会談。

・26日、共同報告者は結論文書を発出。国民の間で政府・議会に対する不信と国家がオリガルヒーに支配されているとの考えが強いことを指摘。他方で、モルドバによる欧州評議会の義務の履行につき確信を得たとして、司法の独立、メディアの独立、汚職対策、銀行セクター強化における改革を呼びかけ。検察に関する法の採択とペトレンコ元議員事案における進展を歓迎。

### ▼26日、欧州対外行動局及び欧州委員会関係者の来訪。

・2月15日の外務理事会の結果を受け、3月半ばのEU・モルドバ連合理事会の準備のため。

・フィリプ首相と会談。首相より、汚職対策、中銀の独立性強化、検察改革、再生可能なエネルギーといった、EUモルドバ連合協定の要求に係るモルドバの取り組みを説明。

### 3. 経済

#### ▼ロシア国際仲裁裁判所はモルドバガスの8.3億ドルの対ガスプロム債務を認定。(15日報道)

・2012年の天然ガス供給に係る債務についてガスプロムの訴えを認めたもので、判決は昨年10月30日に発出された。

#### ▼政府は国営企業民営化を公示。(22日報道)

・ブランデー醸造企業、たばこ工場など、17億レイ相当。

#### ▼23～29日、IMF調査ミッションの来訪。

・交渉マンデートは有さず。フィリプ首相、カンドゥ議長らと会談。2016年予算案・予算財政政策についても協議。

#### 経済協力

#### ▼ルーマニアによる対モルドバ支援。

・15日、Lazrea 当地ルーマニア大使は、ルーマニアはモルドバの改革進捗状況に応じて年内に1.1億ユーロを供与する用意があるとした(注:昨年表明した1.5億ユーロの一部)。また、500万ユーロの幼稚園支援、1500万ユーロの環境支援を行うと述べた。

・29日、当地ルーマニア大使館は、2016年の同国外務省開発援助予算の35%がモルドバ向けで、司法・警察・農業・教育・市民社会発展等の分野で245万ドルに上ると発表。

#### ▼18日、政府は、EBRDによる500万ユーロのモルドバ道路公社改革支援に係る法案を承認。

#### ▼24日、スイスによるモルドバの投資環境改革プロジェクトが開始。

・3年間のプロジェクトで、総額320万ドル。

### 4. トランスニストリア

#### ▼15日、シェフチュク「大統領」はロシア訪問。

・ロゴジン副首相と会談。

#### ▼16日、グバレフ・トランスニストリア問題露特別代表がモルドバ訪問、ガルブル副首相兼外相と会談。

・同問題の解決と「5+2」協議の再開等につき話し合った。

#### ▼16日、トランスニストリアの輸出に関する発表。

・「ト」税関発表。2016年1月の対外貿易は9070万ドルで、対前年同期比39%減。うち輸出14%減、輸入約50%減。

#### ▼18日、トランスニストリア初の軍事ドクトリン制定。

・シェフチュク「大統領」が署名。「国家の主権と独立、領土一体性および国境の不可侵」を守るためのもの。

#### ▼18日、世銀代表団がティラスポリを訪問。

・イグナチェフ外相代行と会談。

#### ▼23日、 balan再統合問題担当副首相は在モルドバ

### OSCE代表及びウクライナ大使とそれぞれ協議。

・「5+2」協議の再開につき話し合った。

### 5. その他の情勢

#### ▼ウクライナ保安庁発表。(24日報道)

・トランスニストリア市民を中心に約40名のモルドバ人がドネツク州での戦闘にロシア勢力の一員として参加している由。

#### ▼24日、アムネスティ・インターナショナルの発表。

・2015年のモルドバの人権状況は悪化しており、更に悪化しつつある、多元的マスメディアも阻害されていると指摘。

### 6. 各種統計

#### ▼2015年の平均給与。(国家統計局、22日報道)

・通年の平均は月額4,610.9レイ(230ドル)。対前年比10.5%増だが、インフレ率を換算した実質増は0.7%。

・2015年12月の平均は5,227.7レイ。分野別では金融・保険が最も高く10,685.4レイ、次にIT、水道・光熱。

#### ▼2015年の対ルーマニア貿易。

・輸出は5.32億ドル(機械・機器類、金属類)、輸入は8.2億ドル(鉱物、機械・機器類)で、モルドバの最大貿易国。

#### ▼24日、世論調査結果発表。

・社会学・市場調査センターが実施。

・政党支持率は、「我らの党」(19.8%)、社会党(13%)、「尊厳と真実プラットフォーム」党8%、「行動と連帯」党(6%)。社会党以外の既存政党は足切りライン(6%)を超えず。

#### ▼29日、世論調査結果発表。

・国際民主主義・議会主義・参政権モニタリング研究所が実施。1,195名が対象。

・回答者の83%が大統領直接選挙制を支持。

・信頼度調査では高い順に教会、マスメディア、科学アカデミー。政党及び政府の信頼度は最下位。

・政治家ではドドン社会党党首、ナスタセ「尊厳と真実プラットフォーム」党党首、ウサトウイ「我らの党」党首、サンドゥ元教育大臣の順。

・政党では社会党(17%)、「尊厳と真実」党(14%)、「我らの党」(13%)、欧州人民党(6.8%)、民主党(6.6%)、共産党(6.1%)。

・EUとユーラシア経済連合のどちらを選好するかについては、EUが37%、ユーラシア経済連合が40%。

### 7. 二国間関係

#### ▼25日、ブマコフ駐日モルドバ大使が着任。

#### ▼26日、ベルツ自由経済地域代表は、住友エレクトリックが3000万ユーロを投資する旨発表。

・3500名の雇用が見込まれるとした。

(了)